

アナと雪の女王

Frozen

鑑賞日 2017・2・13

制作 2013年 米国 上映時間 102分
監督 クリス・バック、ジェニファー・リー
脚本 ジェニファー・リー
原作 ハンス・クリスチャン・アンデルセン『雪の女王』
受賞 第86回アカデミー賞 長編アニメ映画賞、歌曲賞（レット・イット・ゴー）

（あらすじ）

アレンデール王国の王女・エルサは生まれた時から、触れたものを凍らせたり、雪や氷を作る魔法の力を持っていた。妹のアナと遊んでいる時、はしゃぎすぎたアナを助けようとして自分の魔法でアナは意識不明になってしまう。二人の両親の王と妃がトロールたちに救いを乞い、アナは回復するが、エルサは日増しに魔法の力が強くなるので、世に知られぬように城中の窓や門を閉めて部屋に閉じこもり、誰とも会わず、自分を抑えて生きることを強いられる。一方、アナはエルサが何故自分を避けようとなったかが分からない。その10年後、王と妃は海難事故で亡くなり、エルサとアナの二人だけになってしまう。さらに3年後、成人したエルサは女王として即位することになり、閉ざされた門を開いて戴冠式が行われる。

エルサは自分の魔法が一層強くなっているのを自覚しているだけに、なんとか式典を乗り切ろうとする。一方、アナは13年ぶりに外界と折衝できたため、新しい出会いを楽しみにしていた。戴冠式直前に大勢の来賓客の一人である、隣国の王子ハンスと出会って恋におち、その日のうちに結婚の約束までしてしまう。戴冠式のパーティーで婚約を告げられたエルサはあまりにも早すぎる婚約に反対し、アナを説得するが、閉鎖的な13年間の生活に嫌気がさしていたアナは納得しない。姉妹は口論になり、思わずエルサは人々の前で、魔法を暴発させてしまう。自分の力を知られ、怪物よばわりされたエルサは王国から逃げ出すが、夏の王国はエルサの魔法により、永遠の冬に閉ざされる。エルサはノースマウンテンに魔法で氷の城を建て、一人で生きていくことを決意する。この騒ぎは、自分に責任があるとアナは国政をハンスに任せ、エルサを探す旅に出る……

（解説）

第86回アカデミー長編アニメ映画賞を授賞し、主題歌「レット・イット・ゴー」で歌曲賞をも受賞した映画で、興業的にも大ヒットし、歴代2位を記録した。（第1位はタイタニック）。アンデルセンの「雪の女王」にインスピレーションを得て、運命に引き裂かれた王家の姉妹が凍てついた世界を救うため冒険を繰り広げるファンタジーアニメーションである。さすが老舗ディズニーアニメーションだけあって、人間の血の通ったアニメーションになった。